



子どもたちへの未来投資と地域密着予算

平成26年施政方針と当初予算

2月28日から3月24日までを会期に市議会定例会が開催され、市長から平成26年度の施政方針が示されるとともに、これを反映した当初予算が審議されました。
4つの政策の柱に沿った主要事業の概要をお伝えします。

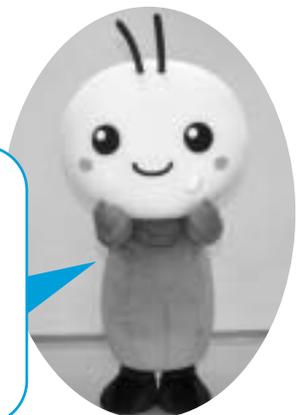
地域に寄り添う予算

私が、多くの市民のみなさんの御支持をいただき、再び市長という重責を担わせていただいているから1年が経過しました。この間、みなさんに約束した政策を、様々な施策として推進してきました。

地域の現実に対して、私や市役所は何かができるのかを考えると、それは、地域の声を聴き、市民とともに考える姿勢を持つことです。すなわち「地域に寄り添うこと」こそが、今後の施策の方向性を見出す手掛かりです。

平成26年度の予算編成は、税金がどのように使われるのか、地域にどのようにかき入れ、地域が変わっていくのかを実感できる予算を作りあげることが基本に、地域の課題や暮らしの問題を一緒に解決する施策を中心に予算編成をしました。

特に、市民の生活に直結する道路、河川、上水道といった社会基盤の整備については、自治会要望を基に、自治会への聞き取り確認を行うことで地域実情を把握し、予算配分しました。また、子どもたちへの将来の投資として、小中学校の空調設備整備をはじめとする学習環境の整備・改善や子育て支援策として認定子ども園の施設整備に取り組みます。



平成26年度の予算については、4月24日発行の「みんなにわかるみんなのまいばら予算2014」を見てね！

一方で、予算付けがない、予算書には見えない市役所の仕事も存在します。職員一人一人の力で平成26年度に進めていくべき事業を「未来へつなぐ職員力事業」と位置付けました。職員の存在こそが市の事業推進力です。一人一人が考え、行動し、市民サービスの拡大や地域課題の解決に取り組みます。

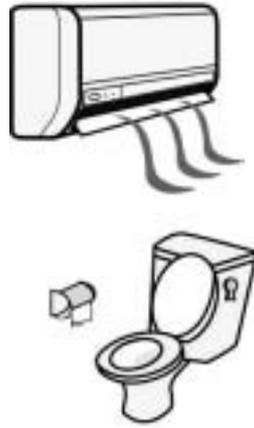
米原に住むみなさんの生活を支え、地域の課題や暮らしの問題とともに解決する、市民のみなさんが米原市に夢や希望を持てる「希望都市まいばら」の実現に取り組みしていきます。

米原市長 中尾道雄

1 子どもや女性・高齢者によさしいまちづくり

★学校に空調、洋式トイレ整備

子どもたちが快適に学べる環境をつくるため、市内全小学校・中学校の空調設備と小学校3校のトイレの洋式化に着手（6億3,896万円）



●認定こども園整備

かなん認定こども園は、平成26年9月開園に向けて整備。（仮称）おうみ認定こども園は、平成27年4月開園に向けて乳児施設にも着手（12億3,845万円）



★小中学生の通院医療費無料化

これまでの入院費無料化に加え、中学生までの通院費を無料化（4,410万円）



●私立保育所施設整備支援

私立保育所の保育環境を整備するため、柏原保育園、長岡保育園の施設改修費に助成（2億7,443万円）

●子育て支援センターの充実

未就園の親子の子育て相談や子育て情報発信、交流の場である子育て支援センターを、乳幼児が多いふたばっこ（近江はにわ館内）で毎週土曜日に開設（1,774万円）

●ストップいじめプロジェクト

いじめ対応支援員を引き続き配置。スクールソーシャルワーカーと連携し、いじめを早期発見、対応強化（229万円）

●小規模学校支援

小規模校の良さを生かし、教育活動を充実。併せて学校、家庭、地域が一体となった特色ある学校づくり事業や地域教育フォーラムを開催（323万円）

★認知症疾患医療センター整備補助

湖北圏域の認知症医療体制の整備に助成し、認知症医療の充実推進（340万円）

●地域お茶の間創造事業

身近な地域で気軽に高齢者が集い、活躍できる居場所をつくり、互いに助け合う新たなコミュニティ形成を支援。新規5地区、継続7地区（750万円）



～未来へつなぐ職員力事業～

予算書からは見えない市政、市役所の動きを見える化するため、事業費ゼロの重点的な取り組みを「未来へつなぐ職員力事業」として位置付けます。

家庭の教育力向上

子どもの成長の重要な役割を果たす家庭での基本的な生活習慣やしつけ、子育ての知恵など、家庭教育を行うための知識をわかりやすく盛り込んだ冊子をつくり、子育てと親育ちを応援

ライフステージに分けた編集

- 例) ・ 幼児期
- ・ 低学年期
- ・ 高学年期など



★=新規事業 ●=拡充事業
事業費の記載ないものは、事業費ゼロ

2

暮らしに安心、地域が元気なまちづくり

★赤い糸発見プロジェクト

子育て・子育て支援サービスの充実に加え、そのきっかけとなる男女の「出会い」に焦点を当てた事業展開
(230万円)

「3本の矢」で ハートを狙い撃ち

●本人の矢 「魅力アップ講習会」

市の結婚相談所登録者を対象に、コミュニケーション力や第一印象など婚活力アップのための講習会を開催（年2回程度）

●市民の矢 「友人紹介仕掛人、同窓会」

友人紹介による出会いを推進するため、友人を結婚させ、結婚後市内に居住を決めた場合、紹介者に謝金を支払う。

●行政の矢 「結婚相談事業の強化」

ゲストとして有名タレントの協力を得ながら婚活事業を活性化

★東草野地域「重要文化的景観」の活用と保全

地域と連携し、整備活用計画を策定。「五色の滝」散策道整備や「カツラの木」の保全など
(200万円)



★小規模企業者経営安定事業

市内の中小企業や地場産業の振興のため、中小企業が融資を受けた際の償還利子に助成（150万円）

★診療所開設検討

旧JA施設を活用し、旧山東西小学校区での新たな地域医療サービスの提供に向け調査・検討（32万円）

●住宅リフォーム助成

市内の施工業者を利用して行う住宅リフォーム工事の経費に助成
(1,800万円)

●グリーンベルト整備

ドライバーに歩行者への注意を促すグリーンベルトを通学路等に整備
(1,100万円)



●橋りょう維持管理

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき老朽化した橋の修繕に着手
(2,000万円)



～未来へつなぐ職員力事業～

（仮称）地域支え合いセンター整備を検討

高齢者や障がい者など、支援の必要な人たちを地域とのつながりで支える「見守りネットワーク」の構築と、拠点となる施設整備に向けた協議検討

若者就労支援

若者が地元で働き、暮らせるようU・Iターン就職希望者の受入強化



特産品インターネット販売支援

いつでもどこでも市の特産品が購入できるインターネット販売を開設し、全国規模のセールス展開

直売所・道の駅整備

国道8号バイパス沿いの直売所・道の駅整備に向け、農産物の確保などの問題点を整理し、方針を決定



3 未来へ、たしかな歩みをはじめまるまちづくり

★米原駅東口にぎわい創出

米原駅東口の市有地などを活用し、市内の「にぎわい」と市外への「お・も・て・な・し」空間を創出
(1,536万円)

★伊吹山活性化プラン策定

伊吹山を生かした新たな観光の魅力づくりのため、地元や関係団体と連携し、伊吹山活性化プランを策定
(218万円)

★シティセールスプラン策定

合併10年を機に、市のブランドを確立し、戦略的に市の魅力を発信するための計画を策定
(484万円)

●道路維持管理

防災、減災の視点から自治会の意見を反映し、避難路線や危険個所を整備
(1億6,281万円)

～未来へつなぐ職員力事業～

(仮称) 市民活動協働センター開設準備

NPOやボランティア団体など市民活動団体の活動拠点となる「(仮称) 市民活動協働センター」の開設準備

3 駅周辺活性化

JR東海道本線柏原駅、近江長岡駅、醒ヶ井駅周辺の利便性を生かし、転入促進を図る。



4 市民の声で、市民とともに築くまちづくり

★防災行政無線再整備検討

老朽化した防災行政無線の再整備に向け、防災行政無線の在り方を含め、調査検討
(400万円)

太陽光発電等設備導入事業補助

再生可能エネルギー利用設備(太陽光発電設備、まきストーブ)設置経費に助成
(1,000万円)

●庁舎等の在り方検討

市にとってよりよい庁舎等の在り方、方向性を導くための調査審議
(808万円)

災害対策

避難生活者、帰宅困難者7,500人を想定した防災備蓄品を計画的に整備
全市的な訓練を目指し、総合防災訓練と地域防災訓練を一体的に実施。10月5日(日)実施
(4,864万円)

●現場の動きをもっと見える化

行政放送伊吹山テレビを高画質化(HD化)し、臨場感のある画像を放映。併せて広報、伊吹山テレビ、公式ウェブサイト、フェイスブックを活用し、市政の動きや市役所現場の情報を発信
(3,404万円)



～未来へつなぐ職員力事業～

地域担当職員制度

職員一人ひとりが地域の一員として市民と向き合い、市民の立場で地域の課題解決に取り組む。

市民の声を市政に生かすSNS活用

フェイスブックを最大限に生かし、市役所各部署の活動や市内各地のイベントなどの情報を積極的に発信

